

事業紹介

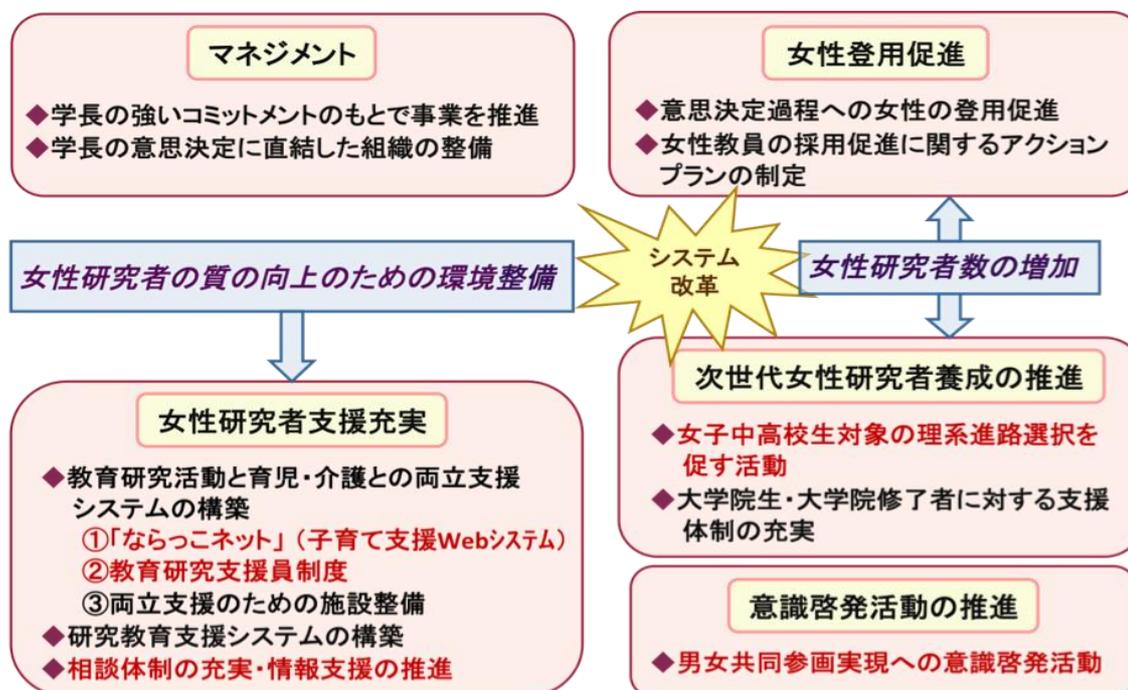
『伝統と改革が創る次世代女性研究者養成拠点』

取組の背景

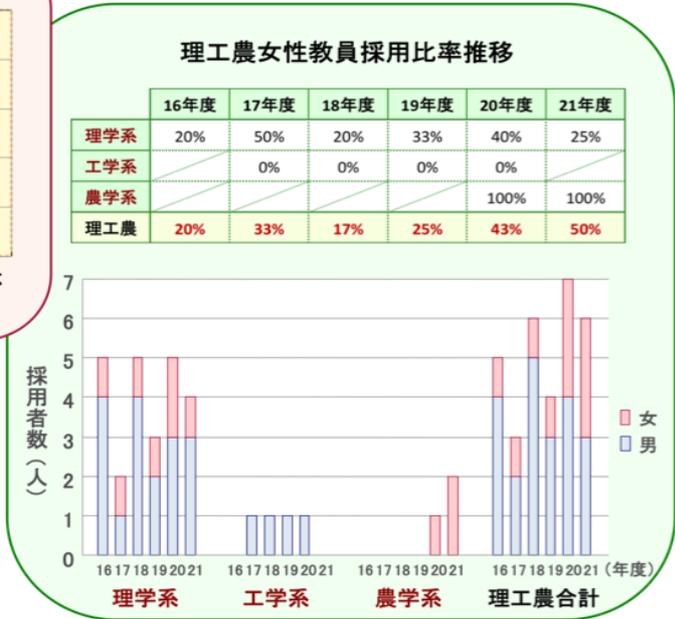
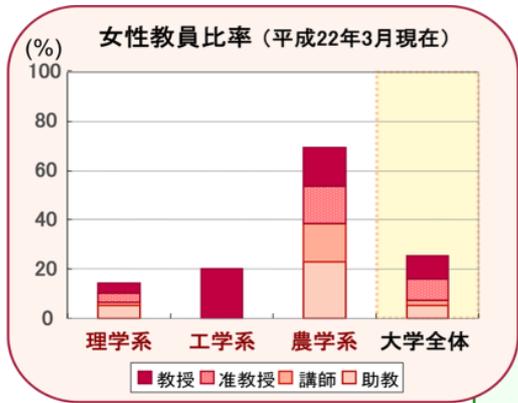
奈良女子大学は、平成 21 年度に前身の奈良女子高等師範学校から数えて百周年を迎えました。この間、我が国における女性の高等教育機関として、数多くの女性人材を育成し、社会に輩出してきました。また、優れた女性研究者を採用し、そのキャリア形成・維持・向上の支援のために様々な研究環境整備を行ってきました。

これらの基盤の上に、平成 18 年度には文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」に採択され、採択課題『生涯にわたる女性研究者共助システムの構築』のもとで各種の女性研究者支援事業を開始し、これを本学の組織の中に位置づけ、システム改革を着実に推進してきました。

女性研究者共助支援システムによる整備（平成 18 年度～20 年度）



安定な職にある女性教員比率と採用比率（平成 21 年度まで）



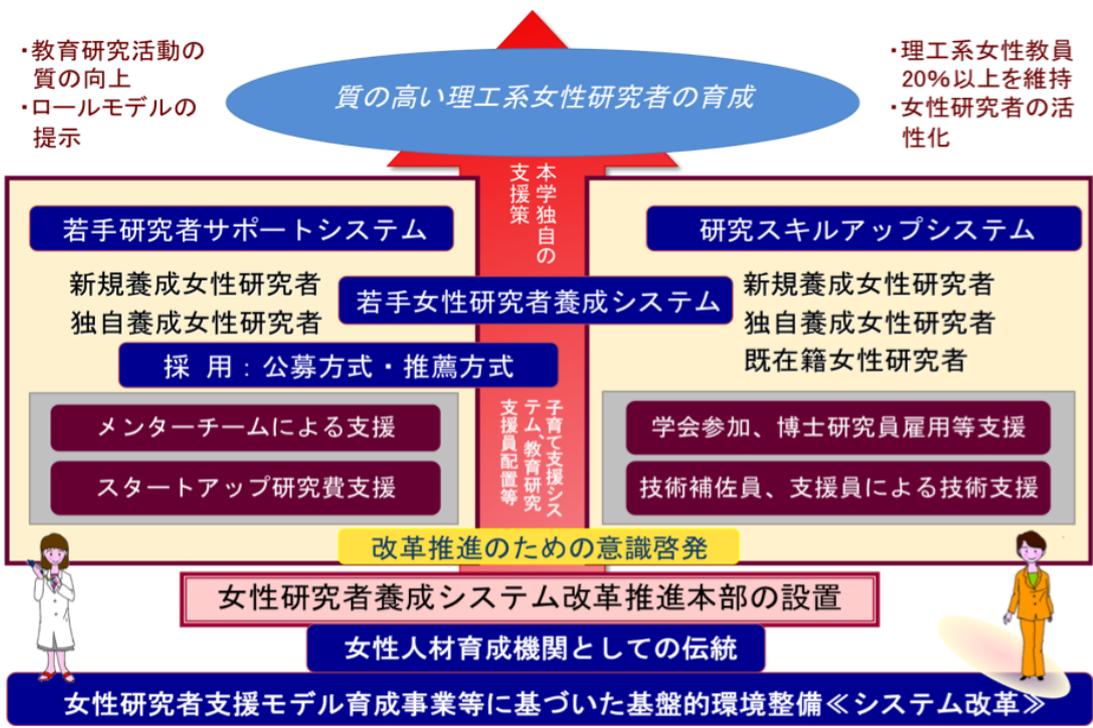
本事業の目的と概要

本事業では、国立大学法人奈良女子大学の女性人材育成機関としての伝統を基盤として、学長の強いリーダーシップの下で男女共同参画推進に係わる全学的な組織を再構築し、女性研究者養成システム改革加速を促進し、次世代女性研究者養成拠点としての役割を果たすことを目的としています。

本学は、第二期中期目標・中期計画において全学の女性教員比率を 30%以上にするという数値目標を掲げ、これまで多数の女性研究者を輩出してきた女性研究者養成機関としての実績と教育研究環境の整備の実績を活かして学長主導体制のもとで、次のようなシステムを実施します。

- 1) **若手研究者サポートシステム**：メンターチームによる女性研究者支援と PDCA サイクルによる指導助言体制の改善
- 2) **若手女性研究者養成システム**：公募方式と推薦方式による選抜を行い、優秀な女性研究者を採用
- 3) **研究スキルアップシステム**：女性研究者に対する種々の支援を充実し、女性院生を養成する指導教員を支援

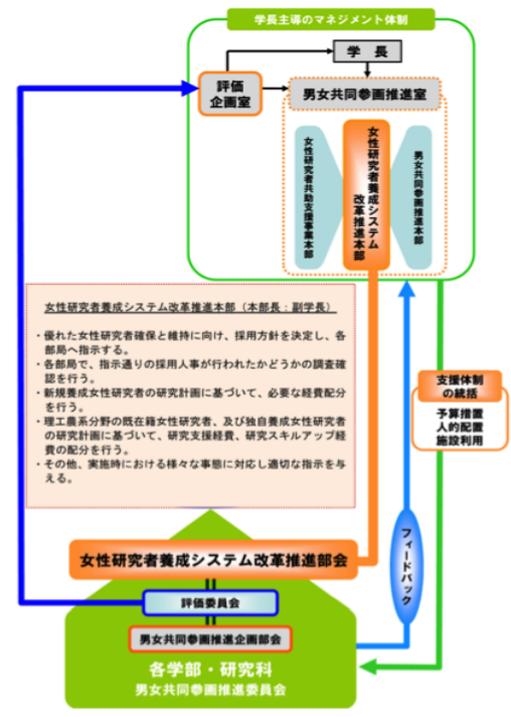
取組の概念図



実施体制

学長主導のマネジメント体制

- ◎男女共同参画推進室の組織改革
『女性研究者養成システム改革推進本部』の設立
- ◎各学部組織
『男女共同参画推進委員会』を設置
・女性研究者養成システム改革推進部会
・男女共同参画推進企画部会
- ◎評価体制
各学部 『評価委員会』
全学 『評価企画室』



新規養成女性研究者の採用計画

本取組を用いて採用する女性教員の数と女性教員比率

- ・女性教員採用アクションプランの制定（平成20年10月）
- ・女性に限定した公募の実施（男女雇用機会均等法第8条に依拠）
- ・本学女性教員比率を30%以上に（第2期中期計画）
- ・理学部女性教員比率を20%以上に（平成25年度中まで：教授会決定）

ポジティブ・アクション

年度	22	23	24	25	26	計
理学系 女性教員採用数 女性教員比率	4 18.5%	1 19.5%	0 19.8%	2 21.0%	0 21.0%	7
工学系 女性教員採用数 女性教員比率	1 25.0%	0 25.0%	1 31.3%	0 31.3%	0 31.3%	2

取組内容：若手女性研究者養成システム

優秀な女性研究者を選抜する採用方法

[公募方式]

国内外の研究機関で活躍している
若手女性研究者対象
ポストドクター等の研究職を経験した者
◎女性教員を対象にした公募を既に実施

[推薦方式]

国内外の研究機関に優秀な若手女性研究者の推薦を依頼

採用分野と規模

理学系分野および工学系分野

研究業績に見合う職階・処遇で採用

研究業績に応じ、助教、准教授または教授
准教授は「任期なし」、助教は「任期なし、又は任期5年(再任3年)」(「任期付き」の場合は、若手研究者サポートシステム等の活用により、将来の安定した職へ)

女性研究者の応募を増やすための方策

◆新規採用女性研究者に対する経費の支援
採用初年度にスタートアップ研究費(150万円)
2年目、3年目に研究経費(100万円/年)

◆公募要領に

- 「若手研究者養成支援経費」(個人への支援)
- 「女性研究者養成加速支援経費」(部局への支援)などの研究支援制度があることを明記
- ◆出産、育児による休職期間があれば、応募書類に明記させる
- ◆ホームページに、実施している共助支援の内容を掲載
(すでに本学で実施の取組み)

女性教員比率についての合意形成

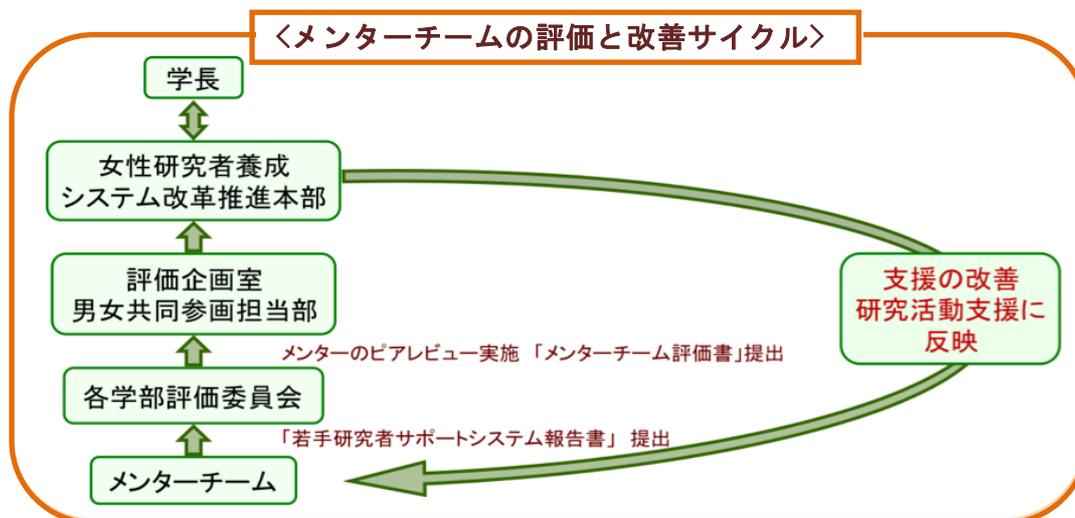
- ◆ポジティブアクション、第2期中期計画に記載
- ◆採用計画は了済み

取組内容：若手研究者サポートシステム

1) 新規養成女性研究者（独自養成女性研究者を含む）対象

複数メンター教員による養成システム

新規養成・独自養成女性研究者の助教対象
採用年度を含めて3年間、研究活動の指導助言
（メンター教員に支援経費支給）



2) 既存籍女性研究者（新規養成・独自養成女性研究者を含む）対象

◆教育研究支援員制度（拡充）

対象者と支援時間の拡大

◆研究スキルアップシステム

女性教員のニーズを踏まえた以下の支援を実施

高度な実験技術を持った技術員を配置

優秀なポストドクター（女性）を配置（双方支援）

学会や研究会の開催経費・参加経費等を援助



実施期間終了後の取組

本事業の実施期間を第1フェーズととらえ、実施期間終了後5年間の第2フェーズでは、当該分野の女性教員の採用比率50%を目指し、理工系女性研究者比率を20%以上に維持します。奈良女子大学若手女性研究者独自養成システムにより、次世代を担う優秀な女性研究者層を厚くし、質の向上を図ります。また、国内外の研究機関で研究活動を行っている若手女性研究者（ポスト・ドクターを含む）を対象とした公募を引き続き行い、本学の人事方針に基づき、優秀な若手女性研究者を採用します。さらに、奈良女子大学研究者サポートシステムと既在籍女性研究者に対する研究支援を継続し、その充実と改善を図ります。

期待される波及効果

本事業を推進することにより、本学の理工系女性教員が20%以上になり、全学での比率も30%を超えることになり、次のような波及効果が期待されます。

- 1) 学内の意思決定に女性研究者の意見が一層反映され、教育・研究・管理運営面での活性化
- 2) 若手研究者と既在籍研究者相互の教育研究活動の活性化
- 3) 女性研究者の増加による研究の質の向上への意識改革の加速
- 4) 本学独自養成システムによる女性研究者の確保
- 5) 優秀な女性研究者の養成、
- 6) 身近な女性研究者のロールモデルが増えることによる本学学生（女性研究者予備軍）の勉学へのモチベーションの高揚